

Summer Lecture 2016 for Nanoscience/Nanotechnology Session B

Summer Lectureは、この夏、2つの日程で開催されました。7月28日から8月5日(日程A)と、8月29日から9月9日(日程B)です。筑波大学数理物質系教授、黒田眞司先生が、日程Bの企画・実行を担当されました。



黒田 眞司教授
筑波大学数理物質系



数多くの研究論文を資料に、プレゼン発表の課題が与えられ、受講生は希望する内容でグループに分かれ発表に臨みました。最終日に筆記試験があり、回答を終えて提出すると、即座に先生からフィードバックをいただきました。

LTM-CEA/LETI MINATEC/ グルノーブル・アルプ大学(フランス)から、クリストフ・ヴァレー先生をお呼びして、土日を除く10日間、講義いただきました。

Summer Lectureは、大阪大学ナノサイエンスデザイン教育研究センターの協力のもと、大阪とつくばのキャンパスで受講可能なTV会議システムを活用した環境で開催しています。



Prof. Christophe Vallée



プレゼン発表の様子

受講生のアンケート回答では、「コース内容が基礎から応用までバランスよく充実して、最先端技術を知ることができる。非常に興味深かった。膨大な情報量で、講義のペースに時々ついていけなかったが、グループワークができてよかった。私の未来の研究に役立つものになると思う。来年の夏も是非受講したい。」などの感想が寄せられています。

講義は、「薄膜および先進プラズマプロセスのマイクロエレクトロニクスへの応用 *Thin Films and Advanced Plasma Processes for Microelectronics*」をテーマに、現在のマイクロエレクトロニクス産業の進展を支える新しい物質およびプロセス法の開発について、英語で行われました。特に、新しい誘電体薄膜の開発、ならびにプラズマを利用した新しいプロセス(プラズマ励起原子層堆積法および原子層エッチング)に焦点を当て、詳しく紹介されました。



講義最終日の集合写真

期間	2016年8月29日(月)～9月9日(金) ※9月3日(土)、4日(日)を除く10日間
会場	筑波大学 総合研究棟B0611室
主催	筑波大学大学院数理物質科学研究科、大阪大学ナノサイエンスデザイン教育センター
構成	1講義、10コマ
参加者数	9名(大学院生9名)

“Thin Films and advanced plasma processes for microelectronics”



Prof. Christophe Vallée

(LTM- CEA/LETI MINATEC and
University of Grenoble-Alpes, France)



講義の様子

Session B

Dates Aug. 29 to Sep. 9, 2016 (10 days: No lecture on Sep. 3 Sat. and Sep. 4 Sun.)

Venue B0611 Laboratory of Advanced Research B, the University of Tsukuba

Lecturer Prof. Christophe Vallée (LTM- CEA/LETI MINATEC and University of Grenoble-Alpes, France)
"Thin Films and advanced plasma processes for microelectronics"

Tuition Fee Free

Time/Date	8/29	8/30	8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6	9/7	9/8	9/9
10:10-11:25						OFF	OFF					